

全14回!

判例百選を論文的に解いて、本質的な理解を!

司法試験・予備試験の合格へ!

憲法判例百選を論文的に解く講座

ライブ(通学/ネット電話)/wma音声通信

【日程および範囲表】

- **ライブ** : 2015年1月14日(水)～4月15日(水)

	日程	百選Ⅰ	百選Ⅱ	開始時間	終了時間
1	1月14日(水)	1～9	166～168	18時30分	21時30分
2	1月21日(水)	10～21	169～172	18時30分	21時30分
3	1月28日(水)	22～33	173～176	18時30分	21時30分
4	2月4日(水)	34～45	177～180	18時30分	21時30分
5	2月11日(水)	46～57	181～183	18時30分	21時30分
6	2月18日(水)	58～69	184～186	18時30分	21時30分
7	2月25日(水)	70～81	187～189	18時30分	21時30分
8	3月4日(水)	82～93	190～192	18時30分	21時30分
9	3月11日(水)	94～105	193～195	18時30分	21時30分
10	3月18日(水)	106～117	196～199	18時30分	21時30分
11	4月1日(水)	118～129	200～203	18時30分	21時30分
12	4月8日(水)	130～141	204～207	18時30分	21時30分
13	4月15日(水)	142～153	208～211	18時30分	21時30分
14	4月22日(水)	154～165	212～215	18時30分	21時30分

※ 上記の範囲表は、進行状況により、予告なく変更する場合がございます。

- **wma音声通信** : 各回のゼミ終了から、およそ7日後の発送となります。

【講師】

金 建龍 先生

【講師からのコメント】

司法試験の憲法は、人権等ある憲法価値と別の憲法価値のぶつかり合いをどう調整するのが本質です。対立する各最高法規をどう闘わせ、和合できるかを見極めることにより憲法的調整力を答案に表すことが大切です。

【対象者】

平成27年(2015年)司法試験・予備試験の合格を目指す受験生

【目的】

判例百選を論文的に解くことで、本質的な理解に結び付ける。

【内容】

判例百選を論文的に解きます。

1. 論文的に、判旨を分析することで、論文答案作成の力を身に付けます。
2. 判例の学習方法を理解することで、勉強力を身に付けさせます。
3. 本試験を常に意識し、コメント集の理解を深めます。

※ 講義については、十分予習の上、ご参加ください。

【特色】

講師オリジナル・レジュメを配布します。

授業で、論文テーマとして重要な部分については、講師作成答案を配布します。

講師作成答案は、「主張反論形式」で作成されているので、百選の学習効果を高めます。

※ **答案例は、こちらの答案例PDFファイルをご覧ください。**

【使用教材】 ※各自で、ご用意ください。

<必須教材>

- 憲法判例百選Ⅰ [第6版]
- 憲法判例百選Ⅱ [第6版]

【会場】

「スクール東京」 (東京都 新宿区 三栄町 26番地 サンライズビル2F)

【受講形式】

- ライブ (通学/ネット電話)
- wma音声通信

【受講料 (税込)】

***	回数	ライブ (通学/ネット電話)	wma音声通信
単回	1	5,900円	6,100円
一括	14	78,000円	81,000円
体験	1	3,000円	なし

※ おひとり様1回のみ、**3,000円で体験受講**していただけます。 ※どの回でも可 (要予約)

※ 体験受講はライブ通学のみで、wma音声通信は体験受講の用意がございません。

※ wma音声通信は、各回のゼミ終了後から、およそ7日後の発送となります。

※記載されている内容は、変更することがあります。 ※録画・録音などは、禁止いたします。 2015.04.02(3)